

令和4年度9月 定例教育委員会会議録

令和4年9月20日（火）

山梨市教育委員会

## 令和4年度9月 定例教育委員会 議事録

令和4年9月20日（火）午前10時から、山梨市役所401会議室に召集された。

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 前回議事録署名
- 4 協議事項
  - (1) 今後の学校の在り方について
  - (2) その他
- 5 承認事項
  - (1) 山梨市文化財保存活用地域計画の策定について
- 6 報告事項
- 7 連絡事項
- 8 閉会

### ○出席者

教育長	嶋崎 修
教育長職務代理者	窪田 新治
教育委員	武井 茂
教育委員	矢野 眞由美

### ○事務局職員出席者

学校教育課長		磯村 賢一
生涯学習課長		角田 弘樹
学校教育課 指導主事		小串 吾郎
学校教育課 学校教育担当リーダー		星野 正裕
学校教育課 学校総務担当リーダー		小池 かおり
生涯学習課 生涯学習担当リーダー		根津 道仁
学校教育課 学校総務担当（議事録作成者）		小田切 咲紀

## 4 協議事項の内容

教育長

議事に入る。

(1) 今後の学校の在り方について、説明する。

学校教育課 磯村課長 説明

教育長 資料に基づき説明

教育長

山梨市 ECHOES 学習について、ご意見あるか。

窪田職務代理

市全体で統一した内容を扱うことや総合の内容を充実させるという意図はとても良いと思う。だが、中学校では総合の時間がかなり減っており、ただプラスするのではなく、その分他のものをスリム化するなど、できるだけ先生方の新たな負担にならないように考えて進めてほしい。

教育長

小学校では英語に割いていた時間を戻して利用したいが、中学校では調整が必要だ。段階的に取り入れていきたいと思っている。

武井委員

英語や GIGA スクールなど新たな授業が増え、働き方改革もなかなか進まない中で、学校で新たな取り組みをしていくことは難しいと感じる。だが、農業遺産にも登録された本市で、どのように地域や自然を学校で捉えていくかについて、市としての流れを作ることは大事だ。学校独自の特色を入れる余地も残しながら、一貫したテーマを作っていくことには賛成だ。

矢野委員

上手く進めればとても良いものだと思う。無理なく進めてほしい。

教育長

大学院ではカリキュラムを自分たちで考える授業があり連携できればと思っている。中学校では総合の時間にどのような内容を行っているか。

窪田職務代理

進路に関するキャリア教育が多いと思うが、時間数はだいぶ減っている印象だ。

小串指導主事

時間数が減ったためやりくりが大変だと感じている。

教育長

次に、義務教育学校について、ご意見あるか。

## 窪田職務代理

県で中高一貫校の担当をしたことがあったが、連携校の中には実態があいまいな学校もあった。子どもの減少に対策は必要だが、連携校を作る理由が子どもの数が減るからでは理念がない。しっかりと理念を持ち、やるからには同じ校舎で学ばせるなど徹底しなければ作る意味がないだろう。

また、学区の問題がある。特定の小中学区だけが対象なのか市全体なのか、先の話だが考えるべきだ。

## 武井委員

義務教育学校の導入で学力を充実させるという考えは魅力的だが、公立学校というより私学的な発想をしないと難しいだろう。特に人的に質の良い教職員を配置して上手く運営していかなければ、地域の理解は得られないと思う。

## 教育長

次に、指導主事の複数配置について、何かあるか。

## 小串指導主事

仕事を分担することができれば一つ一つより丁寧に対応できるだろうと思う。

## 教育長

管理職の定数が決まっているので、県との調整も考えていく。

最後に、教育推進コーディネーターの配置について、定年延長の先生の力などを借りて実現できればと思っている。

## 教育長

次に(2) その他、事務局から何かあるか。

## 事務局

なし。

## 教育長

以上で議事を終了する。

## 議事終了

## 5 承認事項

### (1) 山梨市文化財保存活用地域計画の策定について

生涯学習課 角田課長 説明

・承認